

「学級経営と PBIS 研修会【Zoom によるオンライン研修】」報告書

2020.9.1

日 時	2020 年 8 月 28 日(金) 15:00～17:00
研 修 名	「学級経営と PBIS 研修会【Zoom によるオンライン研修】」
研修の目的	生徒指導上の課題解決について PBIS(肯定的な行動介入と支援)を行うことによって、適切な行動を強化し、不適切な行動を予防する研修を実施し、学級経営力を高める。
テ ー マ	「子どものポジティブな行動を強化する～子どもがつくる温かな学級づくり・学校づくり」 講義と演習
講 師 名	栗原 慎二 先生 「広島大学大学院 教授 / 学校教育開発研究所・代表理事」
会場・場所	今帰仁中学校 職員室 or 各学校 (Zoom によるオンライン研修会)
研修内容	<p>1 日本の子ども達の現状</p> <p>2 包括的プログラムの普及定着</p> <p>3 発達と欲求の関係・包括的プログラムという考え方</p> <p>4 学級経営と PBIS(肯定的な行動介入と支援)</p> <p>5 PBIS のポイント</p> <p>①価値を明確にする。 ②価値に基づいた行動を具体化</p> <p>③良い行動が生起する具体的な仕掛けや場を考える。</p> <p>④即時に強化すること。</p> <p>6 演習・・・場面や内容ごとに目標の明確化と評価</p>
成果／活用策	<p>○学校目標を各々の児童が具体的な行動を考え実践し、その行動に対して認め、褒めると言ったことを教師や児童間で継続させることで児童のより良い変容が期待できると分かったので、これを実践していきたい。</p> <p>○望ましくない行動を繰り返す子どもの3パターンの話はとても納得しました。そういった子ども達に叱らずに望ましい行動をさせるための手立てをととても具体的に明示して頂いたので、それらを活用していきたいです。</p> <p>○日本の生徒指導について、今後、どのような対応、支援が必要なのか学ぶことができました。学級経営において、どのように目標を立てて計画し、良い行動のサイクルを作っていくのかについて、事例を基に具体的に知ることができました。</p> <p>○いつも何となく自分の思いでやっていたことが、実はきちんと理論に示されているんだという事が分かった。今やっている事に加え、更に具体的な取り組みを広げていけそうだと感じた。</p> <p>○注意しても改善がみられない児童が、なぜ聞かないのかが知れた。</p> <p>○PBIS について詳しく知ることができて良かったです。</p> <p>○学級目標や児童が、学期ごとに考えるめあてを書くとき、行動目標を明確にしていきたい。望ましい行動を児童に身につけさせたいときの対応方法が分かった。児童が何につまずいているのか、きちんと児童理解をして対応していきたい。</p> <p>○本校でも悩みであった発達に課題のみられる児童へのステップアップ法について、具体的に示していただき感謝です。今後、我が校でも check-in-check-out を活用してみたい。</p> <p>○各月の目標等はあるが意識できないまま終わってしまうことがある。価値を具体的に行動化し成果が出せるようにしたい。</p> <p>○月目標を考えるにあたって、子ども達と毎月、価値を考え、行動に移しやすいようにする案ができました。</p> <p>○具体的な行動目標設定など詳しく分かり、これからの学級経営に役立てられそうです。</p>

- 価値を明確化して具体的な行動を子ども達に考えさせる方法、チェックイン、チェックアウトなどは本校児童でも使えそうだと感じました。
- 具体的な行動を考えることで、生徒も達成しやすくなると感じた。配慮が必要な生徒への対応を見直したい。
- 今まで「個での指導」が良いと思っていたのと、マイナスな行動を指導しがちだったと思います。プラスの行動を強化させるような声かけや工夫をしたいです。
- 今までの指導とは別のやり方を学ぶことができました。
- 県外の講師ともこのような形で研修ができることは非常に良いことと感じました。
- 職員全体で行動することが大切だと感じました。今回の研修で学んだことを実践に移し子どもがつくる温かな学級づくりと即時に強化してあげること。
- 子ども達と向き合う姿勢や取り組みの方法の示唆をいただきました。教師力のアップを図っていきます。ありがとうございました。
- PBIS の活用を今後考えていきたい。価値を決めて、具体的内容を取り上げ、良い行動ができるようにする場を設けていきたい。
- PBIS は学級、部活、子育てに生かせそうだと感じた。
- PBIS のポイント（良い行動を強化して習慣化していく）について、具体的に知れたこと。実践で落とし込んでいきたい。
- 校内研でやった応用行動分析と関連があるのが、一貫性があったとてもよかった。
- 具体的な実践例が示されているためイメージしやすく、学級、学年で取り組む工夫ができそうである。あまり反応してくれない子への対応を振り返って分析していきたい。
- 統計データがとても分かりやすく、今後活かせると思う。
- 本校の学校教育目標をより分かりやすく、より実行しやすく、具現化していこうと思いました。価値を明確に、という視点で見つめ直します。
- とても分かりやすい実践例があげられ、すぐ生かすことができそうだった。校内研修として多くの職員が参加することで学校の教育目標に対する望ましい姿や行動について、共に考えることができました。
- 価値に基づいた行動を具体化することの大切さに気づくことができました。（具体化することで、どんなこと、行動をしたらよいか分かり、目標達成に近づくことができる。）今学期から学級目標を具体化していきたい。
- 価値の明確化。ちゃんとできるようになるまでの手立ての仕方。問題行動のある子どもには理由がある、そして、その指導の仕方。
- 落ちつかない事があったので、教員1年目の先生の実践を参考にしたいと思いました。学級目標をもとにして良い行動を価値付けていきたいです。
- 今まで「望ましくない行動」に対しての対応ばかりに目を向けがちでしたが、「望ましい行動」を教え、「伝える」という指導はすぐに取り組めるものだと思います。
- 新任で1年目の先生や、3年目の先生の経験、実践方法を聞いて勉強になりました。望ましい行動を増やしてポジティブに通すこと、保健室での対応でもとても大切だと感じました。
- 価値から行動を考えることを学びました。学級目標を決めて、どんな行動が望ましいか、児童に示していなかった。今後、取り組んでいきたい。
- 望ましい行動をしている児童にもっと目を向ける



	<p>べきだと実感した。ついつい気になる児童ばかり目を向けていたので、全体的にみて児童を支援していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導は個別で行うイメージがあった。学校が一丸となって協力し合って対応することが大事だと学びました。そういう時はできることを見つけて対応していきます。 ○価値を明確化にし、行動を具体化する表は是非作成して実践したい。 ○発達障がいの子への対応は実践できそうな内容があった。パワーポイントでの資料中心の研修だったので、実際の研修と差はないように感じた。 ○実際の学校目標、学級目標に合わせて価値付け、具体的な行動（具体化）していくことは有効だと思った。学級での困り感のある子への対応にも有効だと感じた。 ○正しい行動に目を向け、正しい行動をのばす。 ○望ましくない行動を無くすよりも望ましい行動を教え、増やすという考え方。ただ褒めるのではなく「価値化する」。事前に価値に基づいた望ましい行動（目標）を考える。 ○子どもとの関わり方、叱り方等効果のある方法で日々実践できるようにしていきたい。本人に自覚がないという子への対応を改善していきたい。 ○成果として、日々の生徒指導は私にしっかりとした目標（めざすクラス）がなく、望ましくない行動ばかりを叱っていたと気づきました。活用では、PBIS を試してみることに。 ○包括的なプログラムの考え方で、十分な発達支援を土台として適応支援を行っていくことが大切であること。 ○問題行動の多いクラス、学年の望ましい行動をしている児童に言葉かけ、褒めることを心がけていきたい。 ○子どもの悪いところを無くそうとするのではなく、良いところを増やしていくことを意識して子どもと向き合いたい、心がけていきたい。 ○問題行動をしている子ども達に対しての対応に追われ、望ましい行動をしている子ども達への対応がこの次になっていた。PBIS を意識しながら学級経営に努めていきたい。 ○現在、特別支援教育も進んできている中で、校内暴力が年々増加しているのは驚きであった。また、PBIS は問題行動を起こしている児童に活かせられると感じました。 ○PBIS は、教育現場において効果的であると感じた。私達の立場で何ができるか整理して、即、実行していきたいと思います。 ○まさに生徒指導が個別ではなく、学級全体や一つの集団を育てていくことからチームとしてやっていく方法と、今後の学級経営のヒントとなった。
感想／要望	<ul style="list-style-type: none"> ○学んだことを伊平屋小で実践できるようにアレンジしてみたい。 ○すぐに生かせそうな研修で、とても参考になりました。実際に学級で実践してみたいと思います。 ○「こんなことやってね」という望ましい行動を伝えるだけでなく、価値も結びつけていくことが重要だということを知りました。確かにこれから大人になっていく上で、全ての望ましい行動を提示することは不可能なので、価値をもとに自分で考える力をつけていくために必要なのだと感じました。 ○PBIS というモデルがどのようなものなのかを様々な学級、学年の実践例を通して理解することができました。また、PBIS を行っていく際のポイントが明確に示されて学ぶことができたので、実践していきたいと感じることができました。



- 子どもは褒めて伸ばす、育てる、と親としても意識する部分ですが、ネガティブの言葉を発する、悪い行動に注目するのではなく、ポジティブ、良い行動をどんどん意識させていくことが悪いことを無くしていくことに繋がるという、とても分かりやすくすぐにも意識して行動に移せることだと思いました。
- 子ども達への手立てが具体的でとても分かりやすかった。学級だけでなく学校全体で活用できる場所も良かったです。
- 初めての ZOOM による研修でしたが、思っていた以上に普通の集合した研修と変わらなくてとても良かったです。コロナと離島と言うこともあり、今後もオンライン研修に積極的に参加できると良いなと思います。
- 外国のデータも取り入れていたので、日本の子ども達がどうの実態なのかを知れた。
- 不登校、いじめ、校内暴力などの件数が 10 年単位でとても増えてきていることに驚いた。子ども達がおかしくなっている、家庭も困っている、貧困が関係しているなど、学校や教師の力だけでは解決できないことも多くなっているように感じたので、専門機関や外部機関など一緒に協力できる場所が増えたらいいなと感じた。
- 望ましくない行動に対する対応と望ましい行動の強化の仕方等、参考になりました。
- 対面や会場に行かなくてもこのようにオンラインで得られるものも多いと知った。本校の児童にも当てはまる内容があったので良かったです。
- とても参考になりました。ありがとうございます。
- 自分が担任をするクラスでも今回の内容が活かせるような生徒がおり、生徒・教師の双方がポジティブな方向に向かえそうである。
- 昨年度から初めて学級現場で勤務しています。学校という場所を生徒の立場でしか見たことがなかったので、日々驚きと先生方への労りの思いで溢れます。「先生方の手腕の問題ではなく「子ども達がおかしい」という言葉が一番の驚きで、一番的確かもしれないと感じました。
- 私も経験が浅いので、同じくらいの経験の先生方実践が見られて嬉しかったです。また。是非勉強したいです。ありがとうございました。
- とても分かりやすく、すぐにでも実践できそうなヒントをたくさん頂きました。
- PBIS のポイントを使ってやってみたい。
- すぐにでも実践してみたいと思う例が多くあり、すごく良かったです。PBIS、価値を示し、生徒が行動できるよう環境を整えていきたいと思います。
- PBIS を今後活用していき、生徒の良い行動を強化していきたいと思います。
- 実現したい価値を明確にし、生徒たちが良い行動をしたくなるような仕掛け、場づくりをしていきたいと思います。
- 包括的プログラムがないと厳しい時代になる。学校全体で理念を統一することが大切だと感じました。
- 学級でも望ましい行動の価値を考えて、振り返りができるように考えていきたい。
- 子ども達の行動を理論的に分析していて面白かった。全体で同じ方向に取り組むと効果が見込めると思えた。
- 今すぐ取り組めることがあり、とても良い。
- PBIS について分かりやすく教えていただき、私自身も指導の悩みがあったので、すぐに実践できる



ものばかりがあり、早速やりたいと思います。

- 日頃から「限りなくシンプルに」を意識していますが、その思いがより強くなりました。また「包括的プログラム」の視点で、すべての児童生徒に向き合うことを再確認しました。
- 「思いやりのある子」、「思いやりのある大人」にあふれた社会を目指します。自分自身も「思いやりのある大人」になれるよう頑張ります。研究の企画、実施、ありがとうございました。初の ZOOM でしたが不思議な感触で、本研修のおかげで体験することができました。
- 個の認め方、接し方、スモールステップ。価値からの行動。
- 叱っても本当にできない子への対応の仕方（スモールステップ）、わざとやっている子への対応の仕方（叱るとマイナスになる）を理解していたつもりだったが、実践できていない部分があることに気づき、今後、意識してやっていきたいと思いました。
- 問題行動のある子供たちへの声かけの仕方、情緒的に関わりを持たないことなど「なるほど！それでか！」と思うことが多々あり良かったです。ありがとうございました。
- 特に印象に残っていることは、どんなに叱っても伝わらない子どもは「分からない」、「本当にできない」、「わざとやっている」という事です。子どもに応じてスモールステップで児童理解に努めていきたいです。
- 今回の研修会は実際の実践例が多くあり、とてもイメージがしやすかったです。子ども達の実態や特性に合わせて取り組んでいきたいです。
- オペラント条件付けのところの話が印象に残りました。知的障がいがある子に対する対応や、普段の指導でもきかない児童の対応まで教えていただいて、実践にうつしやすい内容でとても良かったです。
- 660人の学校で60人もの授業放棄する生徒がいる場合、ちゃんと授業を受けている生徒を大事にして、しっかり授業をして、その60人に対しては安全だけ確保することがよいと学びました。
- 学校が、午前中授業（コロナ渦）になって、校内研が思わずこのような形で参加できたこと嬉しく思います。
- 実践例があり、分かりやすかった。
- 子どものいいところを探して認め続ける努力をしていきたい。
- チェックインチェックを活用して、できるだけネガティブにならないようにポジティブな言動になるように心がけていきたい。
- 子どもを励ませることができるようしていきたい。良い行動ができるように習慣化していくことが大切だと改めて実感した。
- 問題行動に対する対応の仕方。
- 子どもへの指導＝個別対応というイメージが強かったので、今回の研修でそうではない事に気づくことができました。これからの対応に生かせることができるといいです。本当にありがとうございました。
- 今回の研修は IT 機器の関係もあり、職員室で研修を行ったが、予定していた人数以外の職員も途中からではあったが参加している姿があった。現在、問題行動が起こっている中なのでとても参考になる研修であった。
- 途中でブレークアウトを活用することは、とてもいいと思いました。ずっと聞きっぱなしというより、時々話ができる時間があると学習が深まります。
- これからの子ども達が、抱える悩み、社会の動きまでも大きく変化するので、様々なこ

	<p>とを想定しておきたいと感じた。</p> <p>○研修時間を16:45までに調整して頂けると大変助かります。(業務改善の流れのためです。)</p> <p>○実践的な内容だったので、とても参考になりました。すぐ学校や教室で取り組みそうだと思います。</p> <p>○今回は80名という大人数でしたが、もっと絞り込んでやる ZOOM で意見の交換等もできたら良いと思うし、各教科等でも活用するメリットもあると思う。</p> <p>○校内研修として全員で共有できるし、へき地からだと授業を調整して1時間以上かけて参加するので、ZOOM による研修は良い方法だと思った。</p> <p>○貴重な研修の機会をありがとうございます。</p> <p>○研修の告知や ZOOM のやり方の提示等、日程が厳しい気がします。学校全体で、校内研で行いましたが、とてもバタバタしてしまいました。</p> <p>○オンライン研修、思っていた以上にしっかりと聞く事ができたので、このような機会を又つくって頂けると嬉しいです。</p> <p>○オンライン、移動時間がなくすぐ参加できるのが良いと思いました。</p> <p>○良い研修でしたが、ZOOM で2時間の連続は長いと感じました。時間のない中ですが2コマ扱い、1コマは大人数(学級単位)で、2コマ目は、1コマ目で興味をもった教員が申し込んでの研修という形にできたら良いなと感じました。</p> <p>○働き方改革からのアプローチも聞いてみたいです。</p> <p>○国頭地区の教員にとって「北部教育研修センター」の存在意義やありがたさが、どんどん浸透しています。今後も引き続きお願いいたします。</p> <p>○今回のように良い実践例を紹介してもらえるとありがたいです。</p> <p>○オンライン授業が良かったと思います。ありがとうございました。</p> <p>○問題行動を起こす子どもへの対応、生徒指導に関して勉強できる研修があると助かる。今回の話は本当によかったです。</p> <p>○ZOOM で十分に学習できると思いました。ぜひこれからもやってほしい。</p> <p>○Zoom での研修、とてもありがたかったです。</p>
--	--

<アンケートの結果>

目標参加者数	30人	参加者	77人	参加率 257% 参加率=目標参加数÷参加数
アンケート回収数	59件	回収率	76.6%	回収率=回収数÷参加者数 (%)

アンケート項目	評価4		評価3	
	研修の時間について	適当であった	29人(49.2%)	まあまあ適切であった
興味を引く研修内容か	非常に良かった	35人(59.3%)	良かった	24人(40.7%)
今後の教育活動に活かそうですか	非常に活かそう	43人(72.9%)	まあまあ活かそう	16人(27.1%)

※評価2. 評価1は0であった。